

平成 28 年度 グローバル教育推進委員会

テーマ： 主体的な学びや協働的な学びをととした学習のあり方について

本県におけるグローバル教育では、生徒が授業や課題研究に取り組む中で、論理的思考力や判断力、表現力を身につけるとともに、英語運用能力の向上を図り、将来グローバル人材として活躍できる資質を育成することを目的としている。生徒が学習を進めていく中で、どのような活動が必要で、それらをどのような手順で積み重ねていくのかについて、具体的に示して指導することが必要である。

本年度は、学習の振り返りを中心に、協議いただきたい。

【3回のスケジュール】

| | 日程 | 協議事項 |
|---|-----------------------|--|
| 1 | 7月4日(月) 9:30~11:30 | 協議 ----- 学習プロセスの中で問題発見・解決を念頭においた「深い学び」につながる学習について |
| | | 報告内容 ----- ・昨年度の課題やいただいた助言をもとに、各校が「つきたい力」をどのように付けていくのか、本年度の計画について報告する。 ・本年度の達成目標等の確認について |
| 2 | 10月~12月 | 協議 ----- 目標達成に見合った指導の工夫(授業デザイン)について |
| | | 報告内容 ----- ・学習したことが何に(どこに)つながっているのかを分析、報告する。 ・新中高一貫教育校の6年間のカリキュラムイメージについて ・本県での国際バカロレアの全体像について |
| 3 | 2月上旬 | 協議 ----- 到達目標に向けて、主体的な学びや協働的な学びによる思考の深まりがどのように進んでいくか |
| | | 報告内容 ----- ・取組から見てきた生徒の変容、教師の変容、学校の変容等について報告する。 ・本年度の成果と課題から、次年度に向けた取組について |

【到達目標】

学習の振り返りをし、学習者の習得状況を教員及び学習者にフィードバックする



自分で「課題を発見する力」、「課題を解決する力」、「考える力」を身に付けている。

【第1回：H27. 6. 26】

- ・学習の目標や視点を明確にする
- ・各単元で見に付けさせたい力を明確に位置付ける
- ・目標達成に見合った活動を設定する
- ・英語プログラムと探究型学習とのつながりを持たせる
- ・教科間のつながりを持たせる

【第2回：H27. 10. 20】

- ・英語嫌いやベースラインのしんどい子どもたちには、興味のある分野から入っていく
- ・英語教育の充実のためにALTや英語サイトをもっと活用する

【第3回：H27. 11. 6】

- ・担当者の不安を解消するためにも、高知南、高知西の両校で情報共有を広げていく
- ・学習のねらいを明確にする (内省まで含めた学習プランの作成)
- ・学習の概念に到達させる授業デザインをする
- ・活動をアクティブにさせるだけで終わらせない
- ・英語学習時間の確保のために授業形態を工夫する (例：反転学習、ICT活用など)
- ・実践記録(授業の振り返り)から授業者の授業デザインの改善につなげる

【第4回：H28. 2. 2】

- ・子どもの学びを視覚化して学習へのモチベーションにつなげる (例：ポートフォリオ活用など)
- ・評価規準を作成する
- ・他教科とのつながりを持たせる
- ・1年間の成果と課題の「課題」への対応をする